

事業所における 自己評価結果（公表）

公表：令和3年2月15日

事業所名 児童発達支援センター通園くじら

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	13		<ul style="list-style-type: none"> ・トイレやトイレ前 洗面所スペースは時間差で使用するなど、適切な人数を意識して使用しています。 ・生活年齢によって2グループに分かれており、4.5歳児は13名と人数が多い為あつまりの時間はホールで行っています。活動によって、保育室とホールを交代して使用しています。 	狭いので工夫して使用しています。
	②	職員の配置数は適切である	13		<ul style="list-style-type: none"> ・日々の保育の中で情報共有をすることで、職員が足りない部分のサポートがしやすいです。 ・2.3歳児10名は4名の職員、4.5歳児13名は4名の職員を配置しています。活動によってはプラスの職員がサポートに入っています。 	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	13		<ul style="list-style-type: none"> ・生活の場ではこどもたち個人の場所にマークや名前をつけて、本人が見て分かるようにしています。 ・遊びの場（主にホール）に玩具等は置いており、子ども自身が出したり、片づけたり出来るようにしています。 	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	13		<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の掃除や整理整頓を心掛けています。活動に合わせて部屋の使い方、遊具の設定を工夫しています。 	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	12		未記入1 <ul style="list-style-type: none"> ・前期後期に保育総括を行っています。日々の保育後には各グループ職員で反省を行っています。 	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	13		<ul style="list-style-type: none"> ・常に保護者とのコミュニケーションを重ねている点が良いと思います ・保護者からの意見意向について園長・主任を通して周知し、改善する事があれば話し合いの場を持っています。 	

	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	13			
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		13		現在第三者による外部評価は行っていません。そのため、職員が子どもや保護者の立場にたって、よりよい支援ができるよう常に伝え合う職場を目指します
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	13		<ul style="list-style-type: none"> ・研修後の振り返り（感想）を残しておくことにより、より研修が根付いていくと思います。 ・各職員の必要に応じた研修の情報がありません。 	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	13			
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	12		未記入 1	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	12		未記入 1	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	12		未記入 1 <ul style="list-style-type: none"> ・意識して行っています。15 時までのパート職員への伝達が不十分な時もあり、グループ会議等で周知できるようにしています。 	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	12		未記入 1 <ul style="list-style-type: none"> ・各グループ、活動によって事前に打ち合わせをしています。 	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	12		未記入 1 <ul style="list-style-type: none"> ・月案にて必要と思われる活動をバランスよく組み入れています。 	

	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	12		未記入1 ・ 集団の大切さを意識しつつも、個別の支援方法や関わりについて考えています。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	13		・ 朝礼で毎朝行っています。 ・ 送迎に出ている職員に伝え漏れがないように気をつけています。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	13		・ 毎日グループでその日の反省点を話し合っています ・ 降園後グループ別で振り返りを行っています ・ 15時までのパート職員も含め、その日の反省を行っています	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	13		・ 保育日誌、個人日誌にて記録を取り、子どもの状況を把握しています。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	13			
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	12		未記入1	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	13		・ 各市町の保健師、地域の保育所等との連携があります。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	-			
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	-			
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	13		・ 申し送りが行われています。	

	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	13		・申し送りが行われています。	
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	10	2	未記入1 ・他機関の研修がありませんでした。 ・他の施設の発達相談員の方の研修会が行われています。	正規職員の研修は定期的に行っており、全職員対象の研修を年2回行いました。コロナの影響で外部の研修はオンラインのみで行いました。パート職員は時間の関係で研修を受けづらい状況がありますので、毎年開園時間を短縮した研修日を設けています。
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	8	2	未記入2 ・わんぱく教室がありますが、地域からの参加は少ない状況にあります。	今年は交流を企画する予定でしたが、コロナの影響で中止になりました。今後は積極的に企画をしていきたいと思えます。
	②⑨	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	13		・子ども会議等において事業所の活動を紹介することにより、事業所がより一層地域で根付いていくと思えます。 ・園長が参加しています。	
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	13		・送迎時に話しをする事で子どもの情報を共有しています。毎日の連絡ノートにて子どもの様子を伝え合っています。	
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	11	1	未記入1 ・保護者向け学習会が行われています。	
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	12	1		運営規定（重要事項説明書）・利用者負担について、丁寧に説明を行います。
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	12		未記入1	・児童発達支援ガイドラインについて個人的に勉強不足であるため職員の一員として学ばなければいけないと考えます。 →ガイドラインを配布し、職員への周知を図ります。
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	13		・送迎時に話しを聞いたり、必要に応じて面談の時間をとっています	
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	13			

	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	13				
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	13		・毎月の行事予定等のおたよりや各行事等必要に応じて、おたよりを出し周知を図っています。		
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	13			これからも徹底して個人情報の取扱いに注意していきます。	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	13		・言葉かけ、ことば使い等、十分注意を払い、意思の疎通を行っています。		
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	8	2	未記入2 ・今年度はコロナ対策もあり、部外者の園への出入りは規制しています。	行事に地域住民を招待することはありませんが、法人広報の新聞への折り込みや活動で地域の商店街へ買い物に行く等しています。	
	非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	13		・年間の予定に組み入れられています。	
		④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	13		・月1回は必ず行っています。	
		④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	13		・保護者から連絡を受け、各職員に周知伝達しています。	
		④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	12		未記入1 ・アレルギー対象の食物除去にて対応しています。	
		④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	13			
④⑥		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	12		未記入1	虐待防止研修を行っています。	
④⑦		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	11		未記入2 ・現在身体拘束が必要な児は通っていません。		

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。